

# 「新次元の消費者行政・消費者教育」による 地方創生



徳島商業高校  
消費者支援功労者「内閣総理大臣表彰」

徳 島 県

H30. 11. 2

# 1 「新次元の消費者行政・消費者教育」の取組成果 ①

## ① エシカル消費の普及

### カンボジア-日本友好学園との連携【県立徳島商業高校】 全国の先駆け

- ・フェアトレード商品開発（マンゴーアイス等）
- ・販売利益で4名の教員を雇用
- ・カンボジアに「食品加工場」建設（H29.12.21）

→ カンボジア首相から「勲章・感謝状」授与  
消費者支援功労者「内閣総理大臣表彰」受賞（H30.5.28）



福井大臣への商品説明

### 高校のエシカル消費の取組み

- エシカル消費リーディングスクール指定（現在3校）
- エシカルクラブ設置（現在28校）

### エシカル条例 全国初

- 「徳島県消費者市民社会の構築に関する条例」(H30.10.24) 議員提案

## ② 若年者向け消費者教育の取組み

### 消費者庁作成「社会への扉」活用モデル

- 県内全ての高校で授業実施 全国初  
（公立・私立・特別支援学校・高専含む56校）
- ・教師が工夫をこらした授業の公開
- ・授業を行った教員等による報告会の開催



### ライフステージに応じた消費者教育の推進

- 幼・小・中・高校での教育実践校の指定
- 中学生向け消費者教育教材作成
- 消費者教育次世代リーダー養成  
：鳴門教育大学と連携



県立脇町高校・授業風景

波及・展開

## 次代を担う「ひと」づくり

### 全国ネットワークの構築

#### ○次世代エシカルフェス（H30.7.21）

- ・県内外の高校生の交流促進  
「取組事例発表」  
「グループワーク」等  
（県外：4県5校、県内：3校  
計8校）



次世代エシカルフェス

#### ○エシカル消費自治体サミット（H30.7.22）

- ・先進的取組を行う自治体の連携強化  
「トークセッション」等  
（県外2県・2市、  
NPO〔京都府〕、高校4校）



エシカル自治体サミット

継続実施でネットワーク拡大

### 徳島の取組みが国の施策に反映！

#### ○若年者への消費者教育の推進に関する アクションプログラムが決定（H30.2）

（消費者庁・金融庁・法務省・文部科学省）

- ・「全都道府県の全高校」で授業実施  
目標：2020年度まで
- ・徳島県での「活用事例集」や  
「アンケート調査結果」を全国発信  
（消費者庁・徳島県作成・公表）



#### ○全国知事会・緊急提言（H30.7） 徳島県提案

### 「若年者への消費者教育の推進」

- ・成年年齢引下げを受け  
地方も若年者への消費者教育に尽力
- ・積極的な財源支援措置



全国知事会にて提案

# 2 「新次元の消費者行政・消費者教育」の取組成果 ②

## ③ 消費者志向経営の推進

### 「とくしま消費者志向経営推進組織」設立 地方初

・消費者重視の経営へ **SDGs**を見据えて

経済団体、消費者協会、県で構成

・消費者志向自主宣言

徳島 25 / 全国 95事業者数 (H30.9末)



消費者志向自主宣言書の手交

## ④ 見守りネットワークの構築

※消費者安全法に基づく「消費者安全確保地域協議会」

### 県版「とくしま消費者見守りネットワーク」設置

(H29.12) 市町村の高齢者等の見守りネットワークの構築や活動を支援

### 市町村版ネットワークの設置

・5万人以上「全市」に設置(H29 全国初)  
(国の目標達

成)2019年度までの目標

県内全市町村設置 (現在18/24市町村)



板野町の見守り活動

## ⑤ 子どもの事故防止

### ネットワーク会議設置

・医療機関等関係機関と連携  
: 効果的な事故予防策を検討

### 積極的な啓発活動

・「事故防止啓発絵本」

: 保育所、幼稚園、小児科、図書館で活用

・子育て応援イベント(おぎゃっと21)での啓発



◎消費者庁の「アプナイカモ」  
◎徳島県の「すだちくん」

波及・展開

## 新たな「しごと」の創出

### SDGsを見据えた企業の実践

#### ○民間企業等における「エシカル商品」開発

・サテライトオフィス企業制作

⇒地元・間伐材を利用した「食器類」

・県内外の企業と城西高校のコラボ制作

⇒若者向け「藍染衣料」

・首都圏企業・地元企業が共同開発

⇒障がい者・高齢者にやさしい

「開封の容易なパッケージ」



間伐材利用の食器



藍染によるエシカル衣料

## 安全で安心な「まち」づくり

### 消費者被害の減少に向けて!

#### ○全市町村で「消費生活センター」設置(H29)(広域設置含む)

・県内どこに住んでいても質の高い消費相談体制の確保

・県センターでの市町村センター支援と高度な相談対応

#### ○「県版特区」による先駆的な消費者行政の展開【板野町】

・見守りリストの作成など見守り活動の強化

・不招請勧誘など新たな課題解決への実証的な取組み

#### ○徳島県の見守りネットワーク「設置事例集」

・消費者庁が作成・公表 全国モデルに



### 消費者行政・消費者教育の関係者が集う場

#### ○「とくしま消費者行政プラットフォーム」県庁10階

・消費者行政新未来創造オフィスと同じフロアに設置

・(視察) 全国の消費者団体、企業ほか

延べ 1,117人 (うち県外 540人)

H30.10末現在



とくしま消費者行政プラットフォーム

# 3 四国・中国・関西そして全国へ

## 四国

- ▶ **四国知事会** (H30.6.5)  
「消費者行政新未来創造オフィス」の**拠点機能強化に向けた緊急提言**
- ▶ **四国はひとつ・消費者市民社会創造フォーラム**



H31  
高知開催

## 中国

- ▶ **中四国サミット**(H30.10.29)  
(中国・四国9県知事、中国四国経済連合会長で構成)  
「**消費者行政・消費者教育推進宣言**」を採択
- ▶ **消費者行政新未来創造プロジェクトの展開**  
・ **エシカル教室in広島**を広島県と共催 (H30.11.3)



## 関西

- ▶ 関西広域連合内に  
「政府機関等対策プロジェクトチーム」  
設置 (H28.12)
- ▶ **政府機関等移転推進フォーラムin大阪**  
(H30.8.22)
- ▶ **消費者行政新未来創造プロジェクトの展開**
  - ・ 広域医療調整会議 (**子どもの事故防止**) (H30.10.10)
  - ・ **消費者志向経営セミナー** (H30.10.19)  
(関西経済連合会・関西経済同友会の協力)



波及・展開

## 首都圏

- ▶ **新次元の消費者行政・消費者教育推進フォーラム**  
・ H30.11.7(水) 13:30~15:50  
・ イイノホール (東京都)



## 全国の消費者関係団体との連携

- ▶ **新次元の消費者行政・体感ツアー (計3回)**

- ・ **ACAP (消費者関連専門家会議)**  
会員企業が参加⇒37企業・83人
- ・ **ACAP西日本支部長や専務理事による基調講演**  
(消費者志向経営推進シンポジウム)



- ▶ **消費者団体での知事講演**

- ・ H30.6.28 **ACAP**  
(消費者関連専門家会議)
- ・ H30.11.15 **NACS**  
(日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会)



- ▶ **消費者関係団体と連携した取組**

- **日本弁護士連合会：連続シンポジウム**  
「地域で防ごう！消費者被害 in 徳島」(H30.2.3)
- **全国消費者団体連絡会**  
消費者行政の強化に向けた意見交換(H30.8.24)
- **全国消費生活相談員協会**  
「中学生向け消費者教育教材」作成(H30~)

# 4 総理・大臣等の視察来県

## H30.9.1 安倍総理



### 総理発言

◆「フィールドワークが、しっかりとでき分析しながら、**成果・果実を全国展開する非常にいい流れができた、**と思っている。」

◆「**徳島にオフィスができて、良かった**ということを徳島の皆さんにも実感していただき、**いいチャレンジだった**と思えるようにしていただきたい。」

## H30.6.30 河野大臣 (H28.7.6) (H27.12.14)



「**いろいろな成果が次々と発表されている。**テレビ会議システムを使えば、徳島に居ながら、東京の会議に出席できるため、**移転しても対応は可能。**」 (H30.6.30)

## H30.6.2~3 福井大臣



「**消費者教育で進歩が顕著だ。一人ひとりの生徒が育っている**と感動した。ノウハウについては課題はない。今やるべきことを徳島でも東京でもやっつけていくことに尽きる。」

## H29.8.24 江崎大臣



「**知事らが非常に熱心で感心した。**消費者行政や消費者教育に対する熱意は、**徳島が(全国で)一番ではないか。**」

## H30.10.18 宮腰大臣



「**徳島で行われている先導的な取組をどう全国展開するか**など、さまざまな課題を総合的に検証して結論を得たい。」

## H29.8.14 二階自民党幹事長



「**地方の意気込みが満ちあふれている。**初の試みを成功させるために懸命の努力を誓いたい。」

## H30.10.7 石田公明党政調会長



「**中央省庁の地方移転のモデルケースをつくる**ことが重要。**徳島での取組が試金石となる。**成功例となるよう協力したい。」

## H28.12.3/9.14 松本大臣



「**徳島県の熱意を感じた。**この熱意を3年後まで持ち続けてほしい。神山町での取組は、働き方改革を進める上で大変参考になった。」

「総人口の減少 (H27国勢調査) 」  
22年連続「東京圏への転入超過」

地方への人の流れを生み出す  
「政府関係機関の移転」実現

東京一極集中の是正による  
地方創生の実現へ！